



KAKUDAI

# シングルレバー 混合栓

台付タイプ

施工説明書

〔固定金具・ホースジョイントタイプ〕

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

## 施工の前に…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付け後の点検のために必ず止水栓を設けてください。

## 施工時について…

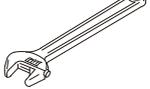
- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

## 製品同梱明細について…

- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照のうえ、部材をご確認ください。

## 施工に必要な工具

●モンキーレンチ



●止水栓取付工具



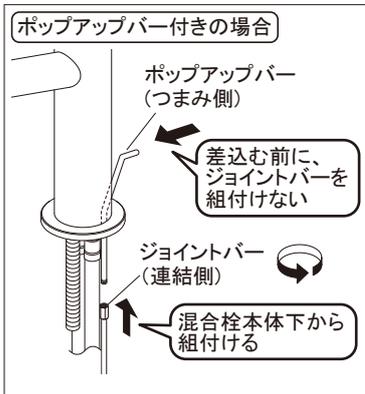
●マイナスドライバー



## 取付方法

\* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

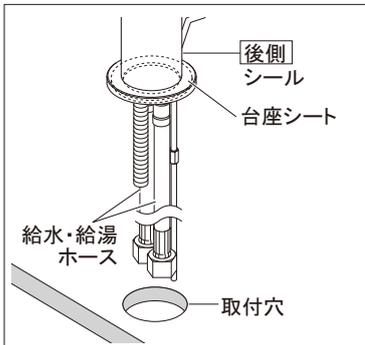
### 1. 混合栓本体を取付けます。



- ①ポップアップバー(引棒)付きの場合は、先にポップアップバー(つまみ側)を混合栓本体に差込みます。次に、ジョイントバー(連結側)を混合栓本体下から組付けます。
  - \* 混合栓を取付台に設置する前に作業してください。
  - \* 品番によっては、ポップアップバー(つまみ側)があらかじめ組付けられている製品もあります。



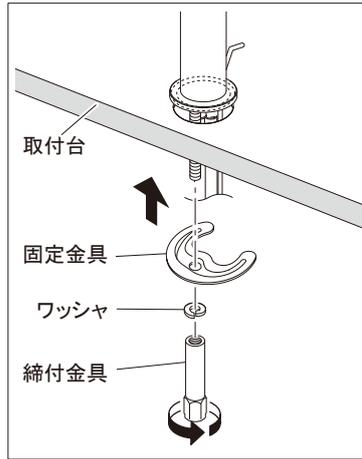
混合栓本体に、ポップアップバーとジョイントバーを組付けた状態で差込まないでください。故障・作動不良の原因になります。



- ②混合栓本体を設置する場所の取付穴径を確認し、穴周囲の汚れを取り除きます。
- ③混合栓本体が正面を向くように取付台に差込みます。
  - \* 後側シールが貼付けられている場合は、後側シールを真後ろに合わせます。
  - \* 水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度に合わせ位置決めをしてください。

## 取付方法(つづき)

### 1. 混合栓本体を取付けます。(つづき)



④支持金具に締付金具パーツを図を参考に通します。

**必ず実行** 組付ける順序を間違えないよう注意してください。

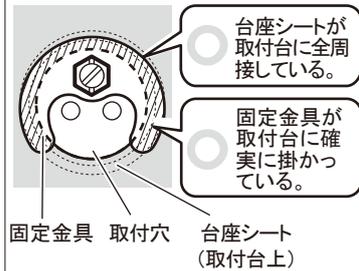
- ⑤混合栓本体が正面を向くように締付金具を仮締めし、取付位置を調整してから、「止水栓取付工具」などでしっかり締付け混合栓本体を確実に固定します。
  - \* 「後側」シールが貼付けられている場合は、「後側」シールを真後ろに合わせます。
  - \* 水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度にあわせ位置決めをしてください。



必ず実行

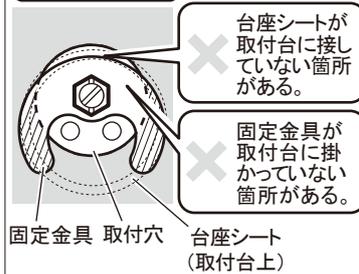
- 締付金具パーツは組付ける順序を間違えないよう取付けてください。
- 締付金具を締付ける際は、適切な工具を使用してください。締付ける際に、工具が給水・給湯ホースを損傷し、漏水の原因になる場合があります。
- 締付金具は、締付け過ぎないでください。固定金具が変形するまで締付けると固定力がなくなります。
- 混合栓本体を固定する際に、レバーハンドル部を持って、締付けを行わないでください。カートリッジに無理な力がかかり破損する恐れがあります。
- 混合栓本体が取付穴の中心にくるように固定をしてください。偏って取付けますと、確実に固定されない恐れがあります。
- 混合栓本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。

### 正しい取付状態



- ⑥左図を参照に、取付状態を確認します。
  - \* 台座シートが取付台に全周接するように取付いているか。
  - \* 固定金具が確実に取付台に掛かっているように取付いているか。

### 誤った取付状態



注意

- 混合栓本体が正しく固定されないと、グラつきや取付台下へ漏水、部品の損傷の原因を起す恐れがありますので注意してください。
- 台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますのでご注意ください。

# 取付方法(つづき)

# 取付後の点検

## 2. 給水・給湯ホースを取付けます。

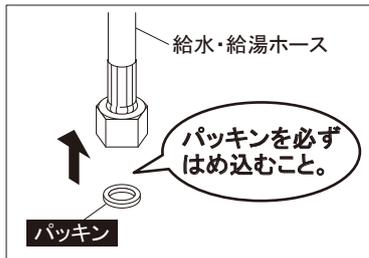


①ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。

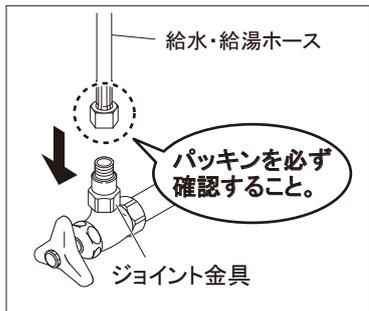


②ジョイント金具にパッキンが付いているのを確認してから、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

**注意** パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れに注意してください。



③給水・給湯ホースにパッキンをはめ込みます。



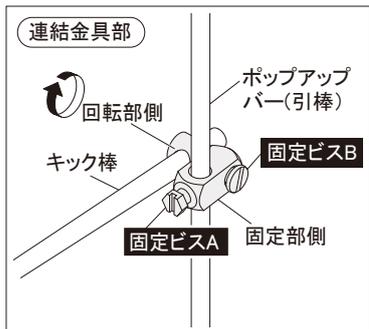
④給水・給湯ホースをジョイント金具に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

**注意** ホースの(湯)水シールを確認して逆配管にならないように設置してください。

<p>禁止</p>	給水・給湯ホースは根元から急激に曲げないでください。ホースに傷が付き、強度が失われたり、ホースがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こす恐れがあります。	
<p>必ず実行</p>	給水・給湯ホースの曲げ半径は、60ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、ホースがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。	
<p>注意</p>	給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。	

## 3. 連結金具を接続します。

(ポップアップバー付きタイプの場合)



①キック棒を下げた状態で、連結金具の固定ビスAを「マイナスドライバー」で締付け、ポップアップバーに固定します。

②円滑に作動するように連結金具の固定位置を微調整します。

③調整後、固定ビスA・Bをしっかり締付けます。

\*排水栓はポップアップバーを押すと開き、引くと閉まります。

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
- ②ハンドルを中央位置で上げ、湯水の混合具合を確認してください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書の「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611  
 広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371  
 0518GF

M-A9994

無断転載・複写を禁ず